

**「令和 8 年度 大阪駅周辺地域におけるまちづくり検討調査業務委託」
に係る公募型プロポーザル方式による選定結果について**

1 案件名称

令和 8 年度 大阪駅周辺地域におけるまちづくり検討調査業務委託
契約期間 契約日から令和 9 年 3 月 31 日まで

2 選定した委託予定事業者

日建設計・日建設計総合研究所共同企業体

3 公募期間

令和 8 年 5 月 11 日から令和 8 年 6 月 12 日

4 学識経験者の意見を聴取する選定会議の委員による審査の結果

(1) 選定会議委員名簿（敬称略）

補職名	氏名
京都大学 防災研究所 特定教授	松島 格也
関西学院大学 経済学部 教授	山鹿 久木
大阪公立大学大学院工学研究科都市系専攻 准教授	吉田 長裕

(2) 選定会議の開催日 令和 8 年 6 月 24 日

(3) 審査基準

評価項目			基準		配点	
業務実施体制	実施体制の的確性		同種業務の実績があるスタッフを配置し、業務を確実に遂行できる体制であるかを評価する。		10	30
	管理技術者		同種業務の実績があるか、また、その実績として挙げた業務において中心的、あるいは主体的に参画したかを評価する。		10	
業務実施計画			実施方針や実施手順の妥当性を評価する。		10	
テーマに対する技術提案	特定テーマ1	合理性	【官民連携による事業スキーム】 ターミナル駅周辺における人中心の通路・広場（地下・地上・デッキレベルを含む）の整備に関して、今後の大阪駅周辺地域における検討の参考となる事例を選定し、その選定理由を示した上で、当該地域で適用可能な事業スキームを提案すること。提案する事業スキームは、国の補助金活用など官民連携によるスキームを前提として、そのスキーム詳細や大阪駅周辺地域における適用可能性および妥当性についても触れること。	ターミナル駅周辺における人中心の通路・広場の整備に関して提案された事業スキームが、合理的なものであるかを評価する。	20	70
		実現性		提案された事業スキームが、大阪駅周辺地域における地域特性等を踏まえた、実現性を伴ったものであるかを評価する。	15	
	特定テーマ2	提案力	【整備効果の評価体系】 特定テーマ1で整理した知見をふまえ、人中心の通路・広場の基盤整備による公共の利益の増進や社会的な便益・効果を評価するための評価体系を、提案すること。	提案された評価体系が、他事例の知見をふまえたものであり、基盤整備の効果の評価にあたり適切で、優れたものであるかを評価する。	20	
		実現性	評価体系の提案にあたっては、定量・定性の観点からの評価指標案や、その具体的な調査・分析方法についてもあわせて示すこと。	提案された評価体系が、大阪駅周辺地域の地域特性等を踏まえたものであり、評価指標案や調査・分析方法が具体的に、実現性を伴ったものであるかを評価する。	15	
合計					100	

(4) 審査を行った事業者

日建設計・日建設計総合研究所共同企業体

全1者

(5) 審査の結果（委員の評価点の合計点）

評価項目			A社
業務実施体制	実施体制の的確性		26
	管理技術者		28
業務実施計画			26
テーマに対する技術提案	特定テーマ1	合理性	44
		実現性	32
	特定テーマ2	提案力	47
		実現性	29
合計			232